

事務事業名 乳幼児家庭教育学級事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1676

施策：	05	生涯学習社会の推進	財務コード	01090602-21-544
基本事業：	01	学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	生涯学習に関する講座・教室等の満足度		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市立4保育所の保護者		各保育所で学習会と合同学習会を行う。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		学習会概要 開催場所：市立4保育所 開催回数：3~4回/1保育所・年 学習内容：子どもに関すること 親自らの課題に関すること 豊かな市民性を身につけること その他：合同学習会を年に1度開催。 各学級の2~3人の役員が、学級運営や学習会の情報（合同研修会の計画・運営含む）を交換する交流会を年4回実施。				
子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親の養成を目指す。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
学習会・合同学習会の参加者数	人	498	482	630	630			650

5. コスト								
事業費	計	千円	232	257	376	473		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費	千円	782	802	838				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,014	1,059	1,214	473			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	令和6年度は、どの保育所も計画どおりに学習会を実施することができた。参加者数は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後は回復傾向にあるが、コロナ以前の水準には届いていない。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）				
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として「家庭教育学級事業」がある。
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし	
成果向上余地	中程度			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

引き続き活動が充実したものになるよう支援していく。	改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）
---------------------------	--

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
保育所設立運動に関連して、市立4保育所を対象に実施されてきた事業。家庭教育を中心とした学習を実施していたが、平成25年度から乳幼児に特化した内容に移行。	乳幼児家庭教育学級は学級生（保護者）が主体的に運営をしている。